

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 11 日

事務事業名		桜川筑西IC周辺都市整備推進事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 050102000415	
		総合計画の施策名 0501 計画的な土地利用の推進				単独/補助		所属課 025201	
		政策名 05 快適な暮らしのまちづくり				主要事業		地域開発課	
		施策名 01 計画的な土地利用の推進				市長マニフェスト			
		手段名 02 ②都市拠点や工業拠点の形成				未来PJ事業		グループ 地域開発G	
		合併建設計画事業				合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (年度~)			
01 02 01 16 01 00		企業誘致推進事業				← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		都市計画法等							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>平成20年4月に北関東自動車道桜川筑西ICが開通し、これを契機とした地域振興が望まれた。桜川市総合計画においても、インターチェンジ周辺整備検討事業として位置付けられていた。</p> <p>平成21年4月には、桜川筑西IC周辺整備構想を策定し、さらに事業を推進するための桜川筑西IC周辺地区整備計画を平成25年6月に策定している。</p> <p>現在は、長方準工業地域と大和駅北側の開発整備計画を進めるため、測量調査に着手し地権者との用地交渉を行い、さらにはこの開エリア内に市立病院建設計画も取り入れた計画で事業を進めている。</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>①社会経済動向を勘案し、整備方針等を立案 ⇒ 桜川未来プロジェクトを通して、整備方針を検討 ⇒ 再検討などを通し、精度を高め企画する</p> <p>②計画に基づき、市が実施すべき事業を実施</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・桜川筑西IC周辺地区(大和駅北地区)整備計画の検討 ・事業に関係する地権者対応 ・長方準工業地区内への企業誘致の推進	未来プロジェクト開催回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	企業ヒアリング	社	3.00	2.00	3.00	3.00	3.00
	地権者説明会等の開催回数	回	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
IC周辺地区の土地所有者	IC周辺地区の土地所有者数	人	70.00	68.00	68.00	68.00	68.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川筑西IC周辺地区の整備方針を明確にし、土地利用の誘導並びに企業誘致を推進する。	IC周辺地区への企業等誘致数	社	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	7,692	60,000	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	344,964	706,848	1,197,498	0
	事業費計(A)	千円	344,964	714,540	1,257,498	0
正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

30年度事業費 実績(千円)			01年度事業費 予算(千円)			
01 報酬	945		01 報酬	1,556		
13 委託料	156,051		13 委託料	162,114		
14 使用料及び賃借料	284		14 使用料及び賃借料	1,136		
15 工事請負費	284,081		15 工事請負費	921,333		
16 原材料費	80,995		16 原材料費	81,125		
17 公有財産購入費	172,916		17 公有財産購入費	60,224		
22 補償補填及び賠償金	19,268		19 負担金補助及び交付金	10		
			22 補償補填及び賠償金	30,000		
合計			714,540		合計	1,257,498

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	桜川筑西IC周辺都市整備推進事業	事務事業No.	50102000415	所属課	地域開発課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成20年4月の北関東自動車道桜川筑西ICの開通を契機として、桜川筑西ICを有効活用した地域振興の指針を示す必要があり、これらをまとめたものとして、桜川筑西IC周辺都市整備構想を平成21年3月に策定した。それをさらに具体化するため、平成25年6月には、桜川筑西IC周辺地区整備計画を策定し、地権者対応やインフラ整備など、複合的に事業を進めている。平成25年9月には、長方準工業地域にホリカワカメラも出店(2ha)したため、今後の企業進出が期待される。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会: 桜川筑西IC周辺について、企業誘致の早期実現を望んでいる。 都市計画審議会: 桜川筑西IC周辺都市整備について、早期実現を要望している。 地元住民: 企業等誘致の早期実現が望まれている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	企業の進出動向は社会経済要因に大きく左右され、基盤整備を実現したからと言って必ず実現すると言うものではない。より精度の高い区画整理事業を実施したとしても確実に企業が進出するとは言えない。これらの不確定要因を踏まえた上でリスクを軽減する方法としては、IC周辺整備の取り組みを基盤整備に限定することなく土地所有権の整理も含めて広く検討する事や、段階的的事业実施のプログラムを確定させる事、土地の暫定利用を実施する事などが想定される。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市総合計画において、未来プロジェクトとして、インターチェンジ周辺整備推進事業が位置づけられており、この具体化に向けた桜川筑西IC周辺地区整備計画事業の推進は、政策体系に深く結び付いている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	桜川筑西IC周辺地区は、桜川市振興の拠点地区であり、都市整備の推進は、桜川市の責務と考えられる。また、土地活用および企業誘致は地権者の努力だけでは実現が困難である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	桜川筑西IC周辺地区整備計画に基づき、企業誘致や拠点整備を積極的に推進することにより、租税や雇用の面、業種によっては市のイメージアップにも寄与するなど、「桜川市の活性化」が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	桜川市の拠点整備が遅れることになり、与える影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名   企業誘致推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	都市基盤の整備には、莫大な経費が掛かることから、企業誘致の動向とタイミングを合わせて実施していくことで、先行投資のリスクを解消することが見込まれる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	民間企業との連携により、都市基盤の整備に掛かるコストは削減できる可能性が見込める。また、地権者の積極的な同意が得られれば、地権者意向をまとめるための時間と人件費の削減が期待できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	桜川市の地域振興のための事業であり、公平性は担保されていると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川筑西IC周辺地区整備計画については、地元地権者や桜川市議会との協議を経て、桜川未来プロジェクト(企画課・建設課・農林課・都市整備課)を中心とした体制で策定作業を進めた。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ① コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>